

詩をいまこころとたたきこへ

世間知らズ

夕陽に赤い帆

俳諧辻詩集

心理

とほ抜き新果樹地蔵縁起

風の領分

やがて魔女の森になる

アストロノート

吃水都市

肉の生地

青い家

雨をよぶ灯台

発光

コルカタ

驟みの午後

病人のいない部屋

明日

000

詩七日

土間の四十八滝

機動

静文

絶景ノート

鳥有の人

悪い宴楽

死語のレッスン

雁の世

めぐりの歌

棺にて

萩原朔太郎賞 歴代受賞作品展

2023.3/4[sat]—6/4[sun]

開館時間：9時～17時(入館は30分前まで) 会費：3階オープンギャラリー 観覧無料
休館日：水曜日、5月9日(水) ※5月3日(水・祝)は開館 協力：新潮社/東和銀行



萩原朔太郎記念・永と詩と詩のまち

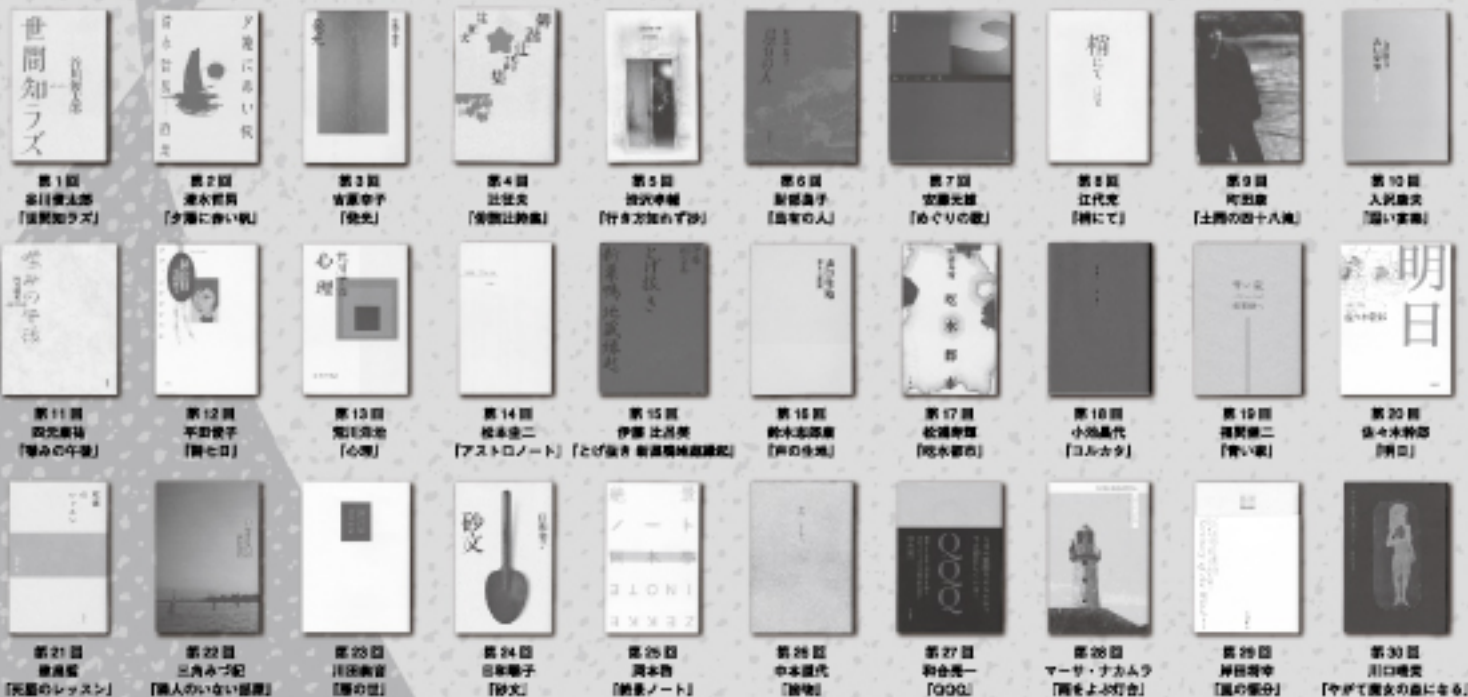
前橋文学館

萩原朔太郎賞 歴代受賞作品展

詩をいさるひとたちへ

本展は、今回で30回を迎えた「萩原朔太郎賞」を記念し、受賞作品30冊と関連資料を展示公開いたします。あわせて、歴代受賞者と賞のあゆみについてご紹介いたします。

「萩原朔太郎賞」は、1992年に前橋市市制100周年を記念して前橋市が創設しました。現代詩を対象とし、毎年8月1日を基準日とし1年間に発表された作品から選考され、その年現代詩の分野において最も清新で独創的、かつ完成度の高い作品に贈られています。



開催記念イベント 第30回萩原朔太郎賞受賞者 川口晴美展 連動企画

歴代受賞者座談会

3月19日(日) 14時開演(開場13時30分)

出演：小池昌代(第18回)、岡本啓(第25回)、和合亮一(第27回)、川口晴美(第30回)

会場：3階ホール 先着50名 ※川口晴美展の当日有効の観覧券をお持ちください。

申込方法

2月23日(木・祝)より
電話(027-235-8011)にて受付開始

※感染症拡大状況によって、開催や内容の変更をさせていただく場合があります。ご来館の際は、事前にホームページをご覧ください。お電話でお問い合わせください。

同時開催

世界が魔女の森になるまで
第30回萩原朔太郎賞受賞者 川口晴美展

2023年3月4日(土)～5月21日(日)
会場：2階企画展示室 観覧料：500円
※高校生以下無料 ※観覧者手帳等をお持ちの方とその介助者1名無料

※会期中、資料の展示替えを予定しています。
詳細は前橋文学館HPにてお知らせします。

○アクセス○

電 車：JR前橋駅北口から徒歩約15分/タクシーで約10分
上毛電鉄中央前橋駅から徒歩約5分

バ ス：JR前橋駅北口バスのりば
・3番のりばから「中央前橋駅」行き(シャトルバス)
「中央前橋駅」下車 徒歩約5分
・6番のりばから「菰野公園・橋公園」行き
「城東町二丁目」バス停下車 徒歩約5分

自転車：閑馬自転車道 前橋ICから車で約15分

※店舗のサンクエーション(運営P減額)のご利用には、駐車券400円返金が必要です。



前橋文学館
HP



前橋文学館
Twitter



萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち

前橋文学館

〒371-0022 群馬県前橋市千代田町三丁目12-10
TEL.027-235-8011 FAX.027-235-8512
<https://www.maebashibungakukan.jp>

